

立正大学社会福祉学会ニュース

第 43 号

2024. 3. 20

目 次

総会を開催いたします	1
第 25 回研究大会を終えて	1
第 25 回研究大会研究発表者一覧	2
事務局便り	3

総会を開催いたします

早春の候、会員のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のことと存じます。下記の日程で、2024 年度立正大学社会福祉学会総会を開催致します。

日時：2024 年 5 月 22 日（水）16：30～

会場：立正大学熊谷校舎 19 号館（アカデミックキューブ）2 階 201 教室

※ 欠席される会員の方は、学会ホームページの各種ダウンロードより、委任状をダウンロードし、必要事項を記入後、社会福祉学会宛に送付してください。

第 25 回研究大会を終えて

去る 11 月 4 日（土）、熊谷キャンパスで立正大学社会福祉学会第 25 回大会が開催され、91 名の参加（学内会員 22 名、学外会員 2 名、非会員参加者 6 名、大学院生 12 名、学部生 40 名、非会員発表者／招待者 9 名）がありました。当日は星霜祭もあり、学部生も多く参加しました。

午前中は研究発表と実践報告があり、熱心に参加する会員たちの姿があちこちで見られました。

午後の基調講演では、自由学園最高学部 准教授 酒本絵梨子 氏に、「遊びから見る子どもの権利とその擁護・支援とは」をテーマに、①子どもの権利条約第 31 条「遊ぶ権利」と「ジェネラルコメントNo.17」、②遊びの構造的理解、③おもちゃを所有すること、④遊びが作る未来、⑤子どもの声とは何か、⑥遊びと自尊心について、お話をいただきました。話の中に「いうこと一緒・やること一緒」のゲームを取り入れるなど、和やかな雰囲気の中で行われました。

基調講演後は、山田修平大会準備委員をコーディネーター、また、酒本絵梨子 氏をアドバイザーとし、「子どもの権利について～子どもの意見・意向表明や権利擁護のあり方を考える～」をテーマにシンポジウムが行われ、社会福祉学部 助教 門脇大輔 氏からは、「小学校における子どもの権利擁護」、同助教 宮平千穂 氏からは、「子どもの権利～社会的擁護における子どもの権利擁護について考える～」について、それぞれ自らの経験を踏まえ、子どもの権利擁護について熱い思いを語っていただきました。

次回の第 26 回研究大会も会員各位の貴重な研究成果、実践報告を発表できる場として、またさらなる会員の学び、交流の場となるよう、会員の皆さまからのご発表・ご報告と大会への参加をお願い申し上げます。

＜第 25 回研究大会発表者一覧＞

1 研究発表 I

司会：藤高 直之（立正大学社会福祉学部）

司会：宮平 千穂（立正大学社会福祉学部）

- (1) 「中国保育所における不適切保育の背景にある保育士の子ども権利意識の分析
～日中の保育士に対するにインタビュー調査の比較を通じて～」
方 汀（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）
- (2) 「GIGA スクール構想後の知的障害特別支援学校における ICT 導入による教育的影響
～ICT 機器整備の実態と教員の「ステレオタイプ」～」
大矢 孝太郎（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）
- (3) 「知的障害児の親への障害の告知とその受容に関する研究」
渋谷 芳久（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）
- (4) 「発展し始めたばかりの農村コミュニティ・ケア～山東省夏荘鎮を中心とした周辺農村高齢者介護サービスの現状調査報告～」
単 旭生（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）
- (5) 「家族介護者のための相互扶助プラットフォームの開発に向けた調査と要件分析」
田 宇（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）
- (6) 「在宅高齢者の孤独感に関する研究」
万 天豪（立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 1 年）

2 研究発表 II

司会：山田 修平（立正大学社会福祉学部）

司会：門脇 大輔（立正大学社会福祉学部）

- (1) 「埼玉県の地域教材に関するカリキュラム開発（その 4）～岩槻の木目込みひな人形作り～」
石橋 昌雄（立正大学社会福祉学部）
上野 柚香（坂戸市立入西小学校）
橋本 遥（寄居町立男衾小学校）
神田 明日香（鴻巣市立鴻巣北小学校）
小川 司穂（川口市立柳崎小学校）
- (2) 「埼玉県の児童の体力変化について～コロナ禍以前と比較して～」
石橋 昌雄（立正大学社会福祉学部）
佐々木 彩羽（立正大学 3 年）

鏑木 丈(立正大学 3年)

田山 瑠奈(立正大学 3年)

新井 美紅(立正大学 3年)

(3) 「日本における中国人高齢者の生活課題」

チョウ ギョウテイ (立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程 1年)

(4) 「仏教寺院を母体とするボランティア活動とウェルビーイングの関係」

渠琳琳 (立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修士課程 2年)

(5) 「保育者のワーク・ライフ・バランスと就業継続」

半田 佳織 (立正大学大学院社会福祉学研究科教育福祉学専攻 修士課程 2年)

(6) 「表現としてのアート —アートフォーカシングの可能性—」

吉澤 弘明 (立正大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 博士課程 1年)

3 実践報告

司会：白井 健次 (立正大学社会福祉学部)

(1) いずみ保育園での保育実践報告

保泉 幸正 (いずみ保育園 副園長)

(2) 教師として活動して

日下部 正叡 (埼玉県宮代町立百間小学校 教諭)

(3) 児童養護施設雀幸園での心理士実践報告

宇野 遼太郎 (児童養護施設 雀幸園/心理療法担当職員)

(4) 入間わかくさ高等特別支援学校における実践

山本 恵 (埼玉県立 入間わかくさ高等特別支援学校 教諭)

・・・・・・・・・・・・・・・・ 事務局便り ・・・・・・・・・・・・・・・・

<「学会ニュース」の扱いについて>

学会ホームページ(<https://ris-fuku.jp/society>)の開設に伴い、昨年3月発行の学会ニュース第42号から学会ニュースの電子化(ホームページ上での掲載)を行わせていただきましたが、ホームページをご覧になられていない方も多数いらっしゃるようですので、学会ニュースのみ、今後も3月に会員あて紙媒体で配布するよういたします。

<第26回研究会(2024年度)のご案内>

詳細については、新年度に入ってから改めてご案内いたします。

<学会誌『立正社会福祉研究』の原稿募集>

立正大学社会福祉学会では、学会誌を発行しています。日頃の研究、実践の成果をまとめた論文をぜひ投稿してください。次回、第27巻の投稿締切りは、6月30日、発行は11月です。詳しい投稿規程については、学会誌あるいは立正大学社会福祉学会ホームページ(<https://ris-fuku.jp/society>)の各種ダウンロードをご覧ください。また、投稿の際は、各種ダウンロードより、投稿申込書をダウンロードし、必要事項を記入後、論文に添えて社会福祉学会宛にご投函ください。メールでの提出の場合は、投稿申込書を本文に書き添えてください。社会福祉学会の住所及びメールアドレスは、次頁枠内をご覧ください。

論文のほか、活動・実践報告、図書紹介、資料などの投稿も合わせて募集しています。普通会員、学生会員問わず、多くの皆さまからの投稿をお待ちしています。

なお、学会誌はオンライン化され、立正大学図書館の立正大学学術機関リポジトリ (<https://rissho.repo.nii.ac.jp>) に収録されていますので、そちらをご覧ください。冊子媒体での会員への配布は行いませんのでご承知おきください。

<学会誌優秀論文賞・研究助成金の募集について>

学会には、「学会誌優秀論文賞」と「研究助成金」の2つの研究奨励制度があります。

「学会誌優秀論文賞」は、学会誌に投稿された論文の中から優秀と認められるものに授与されます。日ごろの研究成果を学会誌に投稿し、優秀論文賞の受賞を目指してみませんか。また、「研究助成金」については、研究題目、研究目的、研究計画等を記入した所定の申請書を提出した者の中から、特に意欲的に研究に取り組んでいると認められる者に研究助成金を学会より授与する制度です。

2つの研究奨励制度は、学生会員・普通会員が対象となります。募集要項については、立正大学社会福祉学会ホームページ (<https://ris-fuku.jp/society>) の各種ダウンロードに掲載されていますのでご覧ください。

なお、「研究助成金」の締切は5月末日です。皆様からの応募をお待ちしています。

<会員異動のご連絡について>

会員の皆様につきまして、住所やご所属の異動がございましたら、メール、faxにより学会事務局まで連絡をお願いいたします。

連絡先：立正大学社会福祉学会事務局

e-mail：2016welfare@ris.ac.jp f a x：048-536-2522

《会費納入のお願い》

同封の郵便振替用紙にて2024年度会費(3,000円)の納入をお願いいたします。

なお、2023年度会費(3,000円)を未納の方(封筒の宛名の下が表示が「2023年度会費 未」となっている方)については、そちらも合わせて6,000円の納入をお願いいたします。

(郵便振替) 00110-0-159111 立正大学社会福祉学会

* 立正大学社会福祉学部の現任教職員(学内会員)の方の年会費については、後日別途徴収しますので、上記口座への払込みはしないでください。また、大学院生の方は年会費の支払いは不要です。

立正大学社会福祉学会ニュース／第43号

編集発行：立正大学社会福祉学会

〒360-0194 熊谷市万吉1700

立正大学社会福祉学部内

TEL 048-536-1328 FAX 048-536-2522

e-mail 2016welfare@ris.ac.jp

発行日 2024年3月20日